

さあ、始まります。



ノベガク新任教師たちの対談企画
企画部担当ハルによる 撮影・動画制作ウラ話01



企画部担当
ハルによる
撮影・動画
制作ウラ話

01

ノベガクStory2020 ~その1~ 【なぜ勉強するのか解らない特進コースの私】編

ていうかライバル役の大ちゃん、ホントは超イ奴だから！

OUTLINE

みんなアレ見た？ 今年からウチは広報でYoutubeやってんだけど、今年のテーマは「ノベガクでは、時間を忘れる時間が増えた」なんだよね。今までに無い感じで良くない？【特進コース編】【調理科編】【吹奏楽部編】の3本からなるノベガクをPRする動画なんだけど、この記事はその動画を制作していた時のウラ話・制作秘話を公開していくよ。ぜひこのウラ話を見たあとにもう一回下のQRから動画を見てみてね！

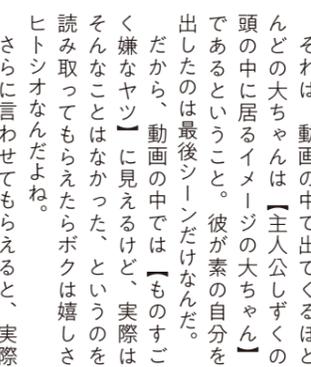
そして動画内の彼女の心の声は、実は彼女自身の声ではないのだよ。そう、実は「声優」が居たのです！



最も人気の高い(?) 動画
これから全3回に渡ってお送りする撮影・動画制作ウラ話。最初に取り上げるのは、3つの中で最も再生回数が伸びた動画【なぜ勉強するのか解らない特進コースの私】編。
特進コース編の見どころは、ポツポツな雰囲気アニメみたくに展開される明るい調子の雰囲気かなあ。まだ見てない人はぜひ見てみてね！

演技力の高いキャスト陣
今回の主役は特進コースの高村しずくさん。
動画を見てもらったら分かると思うけど、実は彼女にセリフは無い。ほぼ全てモノログ(心の声)でアテレコしてるから、声を出さずに表情と仕草だけで全てを表現しなければいけないシナリオなんだよね。ただの素人の高校生に、監督はなんて難しい要求をするんだ！ ってボクも思う。まあ要求したのはボクなんだけどね。
でも聞いて驚くな！ そんな難しい役をほぼNGを出すことなく演じきった名女優こそが彼女、しずくちゃんなんです！

演じてる役とはまるで正反対。



これだけは言わせてくれ！
この動画を制作した担当として、「これだけは言わせてくれ！」ってことがあるんだよ。
それは、動画の中で出てくるほとんどの大ちゃんは「主人公しずくの頭の中に居るイメージの大ちゃん」であるということ。彼が素の自分を出したのは最後シーンだけなんだ。
だから、動画の中では「ものすごく嫌なヤツ」に見えるけど、実際はそんなことはなかった、というのを読み取ってもらえたらボクは嬉しさヒトシオなんだよね。
さらに言わせてもらえると、実際にライバル役を演じた大ちゃんも、めっちゃくちゃ良い奴だったんだよ！

主人公のコミカルな演技を支えるカワイイ声を担当したのは、同じく特進コースの和田桃香さん。
監督(ボク)の鬼のようなディレクションに涙目になりながら演じてくれた影の功労者。いや、良い仕事してくれたいよ！

さあ最後に紹介するのは主人公のライバル役を演じてくれた日高大介くん、通称大ちゃん。しよっぱなから嫌みな顔で挑発するように微笑むシーンが印象的だよな。



【なぜ勉強するのか解らない特進コースの私】編
YouTubeで「延岡学園 特進コース」を検索！
この記事を読んだ上で、ぜひまたココから動画内の【先生役の演技】を見てみてね。高評価&チャンネル登録もよろしく！

演技力の【例外】
ここまで演技力の高いキャスト陣を紹介してきたけど、実はこの動画にはもうひとり出演してる人が居るのです。
それは先生役・鈴野先生。
「はい、これ分かる人？」
のひと言だけで、いったい何ティク撮らせるんですか先生!!
彼の演じるたった2シーンの撮影が、この日のスケジュールを圧迫したのでした。
他のふたつの動画のウラ話についても、また次号をお楽しみに。
お届けしたのは企画部顧問デザイナー 兼 動画監督のハルでした。

だから役柄では学校を代表する秀才だけど、実際の大ちゃんの成績はゲホッゲフツツ(ry。
いや、全然悪いワケじゃないよ？ 彼も特進コースだしね。
まあでも今回紹介した三人のキャスト陣で一番成績が良いのは、声優・和田ちゃんなのでした。

発行元：学校法人 延岡学園 **延岡学園高等学校** ☎0982-33-3227(代) 警0982-35-1025

延岡学園高等学校 NOBEOKA GAKUEN HIGH SCHOOL
公式サイト <https://nobeokagakuen-ed.jp/>

Instagram nobegaku |
Twitter @nobeokagakuen
YouTube 延岡学園 公式チャンネル



2020年 延岡学園 新任教師座談会

今年新しくノベガクに赴任された先生方による
自己紹介も兼ねた座談会！

新任の先生方が一同に集う

どうも、企画担当です。今回月刊ガクエンを新しく始めるにあたって、最初の企画として「新任の先生方による対談企画」を提案した時は、「フレッシュな面々が集まって爽やかな紙面になるなあ……！」と期待していたのですが、集まってもうとなんと人生の先輩ばかり。でも流石は先輩方、面白いお話がたくさん聴けました。いつもの倍のボリュームでお送りする創刊号にふさわしい対談になりましたので、お楽しみにどうぞ。

まずは自己紹介

まずは自己紹介をお願いします！
平手「平手です。英語を教えています。延岡出身です。1年生のクラスの副担任をしています」
土肥「土肥です。美術専門です。私も延岡出身ですね。2年生調理科の副担任をしています」
ジョ「ジョーンズです。英語です。3年生のクラスの副担任です。ハワイ出身ですが、もう延岡も21年住んでるので、長いです」

延岡学園のイメージ

やっぱり気になるのは「延岡学園のイメージってどんなものですか？」という質問。校外からの視点を知ることができるのは貴重な機会ですから、聞きたいですね。
一同「部活が強くヤンチャが多い」
やっつたってうかがいましたよ」
ええ!? そうだったんですか？」

平手先生が目指すもの

皆さんは、ノベガクで生徒達や地域に「こんな価値を提供したい・こんな貢献がしたい」みたいな想いってありますか？
平手「生徒がこのノベガクで『将来の再設計』をして欲しいなあって思うんですよ」
ほう。と、いいますと？」

延岡学園のススメ

これから生徒になりうる中学生に対して、伝えたいことありますか？
佐藤「中学で教鞭をとっていた経験から言うと、まず中学生は延岡学園について十分には知らないと思うんです」
平手「そうですね。他の私立高校にして、決め手は『近いから』とか」

土肥先生の野望

今は美大に進む生徒はほとんど居ませんもんね？
土肥「そうですね。そして、美術って受験にも就職にも役に立たない教科じゃないですか」
そうですよ。趣味に近いというか。」

ノベガクの先生たちって、どう？

先生たちの印象はどうですか？
一同「あゝゝあるある(笑)」
佐藤「良いですよ。ただ部活で頑張ってる分、授業中眠くなってしまいう生徒もいますけど……」

実際に来てみたら、どうでした？

佐藤「実際に生徒達に接していると、挨拶がすごくいい。部活が強いから、礼儀・躰の面でキチンと指導されるんだらうなと感心しました」
ジョ「あと、生徒たちがかなり、エネルギーが溢れてます」
土肥「そうですね、活力で溢れてます」



平手 友香 先生

ジョーンズ・アンソニー 先生

土肥 勇志 先生

佐藤 充重 先生

ジョ「生徒のことを一生懸命考えてるって感じが強いですね。相手の将来にしっかり向き合ってると思うか」
佐藤「生徒についてよくご存知ですね。たくさん生徒がいるにも関わらず、一人ひとりをよく観察されていて、生徒のここを伸ばしたいって方針もハッキリ持たれてる先生ばかりです」
平手「先生と生徒の距離が近い印象ですね。部活動での顧問との絆とかもあるのかもしれませんが。信頼関係が強く結ばれてるように思います」

平手「この学校に『来たい』と思って来ていないかもしれない」
ジョ「そういう生徒にもっとノベガクのことを知ってもらって、希望を持って入学して欲しいですね」
平手「高校生活って楽しいものですし」

みなさん、ありがとうございました！
これから月刊ガクエンでたくさん発信して、知ってもらえるようがんばりますね！

佐藤先生の趣味……？
土肥「佐藤先生、毎日職員室でコーヒー淹れてますよね？」
ジョ「毎日良い匂いさせてます。なにかこだわりがあるんですか？」
佐藤「あゝ……」
どうしました？」
佐藤「実は……以前の職場で、ある方にコーヒーを出したんです。すると、その方が『これ、コーヒー豆変えたでしょ？』っておっしゃったんですよ。でも、コーヒー豆は変えてないんです」
土肥「ほうほう」
佐藤「前日はなんと他の先生がコーヒーを入れてて、そっちがすごく美味しかったらしいんですね」
一同「(爆笑)」
佐藤「それが悔しくて悔しくて。それからコーヒーを上手に淹れることができるように、練習してるんです」
平手「わざわざ朝早く出勤して？」
佐藤「コーヒーのためだけではないんですけどね(笑)」
今の腕前はどのくらいですか？」
佐藤「おかげさまで、いろんな先生に『美味い』という社交辞令を頂けるくらいにはなりました(笑)」

ジョーンズ先生の意外な経歴
平手「ジョーンズ先生、昔バーテンダー